

[抄録様式]

<p>財団法人8020推進財団 平成23年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：乳幼児歯科研修会</p>
<p>2. 申請者名：社団法人 沖縄県歯科医師会 会長 比嘉良喬</p>
<p>3. 実施組織：社団法人 沖縄県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要</p> <p>沖縄県の乳幼児むし歯罹患率は全国最下位に近い状態が続いている。 乳幼児のむし歯は家庭にも問題があるが、それを指導する側も保護者に対して保健指導していくために日々研鑽に励まなくてはならない。そこで、今回4回コースの研修会を企画し開催した。 修了者は意思確認の上、乳幼児歯科協力医として登録し小児科医会へ名簿を提出した。 また、周産期からの指導も重要と考え、妊婦歯科健診マニュアルを作成・配布した。</p>
<p>5. 事業の内容</p> <p>①乳幼児歯科研修セミナー4回コース 全過程修了者 歯科医師36名、歯科衛生士32名 第1回 「小児歯科を楽しもう！」俵本寛志先生（全国小児歯科開業医会） 第2回 「小児歯科保健・臨床のトピックス」井上美津子先生（昭和大学） 第3回 「食物アレルギーと予防接種：最近の話題」具志一男先生（沖縄県小児科医会） 第4回 「小児口腔医学を目指して」尾崎正雄先生（福岡歯科大学）</p> <p>②乳幼児歯科協力医名簿作成 作成した協力医名簿（24名）を沖縄県小児科医会ならびに福祉保健部に提供し、今後の連携のために活用する。</p> <p>③妊婦歯科健診マニュアル作成 同マニュアルを500部作成して会員ならびに関係機関に配布し、活用していただく。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>講師4人の幅広い講義により、小児歯科に対する姿勢から指導法、手術等の技術面まで、受講者の意識と知識の向上を図ることができた。また歯科医師と歯科衛生士の認識の共有化が図れた。</p> <p>本事業の実施に当たって、小児科医・産科医の意見を伺う事ができ、医科の側でも小児歯科への関心が高いことが分かった。</p> <p>今後の課題として、小児科医・産科医との連協強化や、協力医の増加はもちろんの事として、乳幼児のむし歯罹患率をいかに削減するか、より具体的な方法を検討し実施したい。</p>